

卒業生の活躍状況調査（※社会人基礎力）

企業の採用担当者に対してアンケート調査を実施し、在籍する本学卒業生の社内での評価について、下記の「社会人基礎力」の能力から「優れていると感じるもの」を選択する形で59社から回答を得ました。

※社会人基礎力(経済産業省が2006年より提唱)……職場や地域社会で多様な人々と仕事をしておくために必要な基礎的な力

社会人基礎力の要素	優れていると感じる
前に踏み出す力 (主体性・働きかけ力・実行力)	17社
考え抜く力 (課題発見力・計画力・創造力)	9社
チームで働く力 (発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力)	33社

「チームで働く力」が優れていると感じる理由(抜粋)

- 多様なメンバーとのコミュニケーション力、柔軟性、チームワーク力が高く、バランスがよい。
- いろいろな社員を巻き込んで業務を遂行していくことが得意な方が多い。
- 周囲と歩調を合わせられる協調性に長けた方が多い。
- 様々な専門性や能力を持った社員と連携して、課題解決を図っていくことが必要であるが、中心や潤滑油となってチームに貢献している。
- 規律意識が高く求められる業務全般において活躍している者や、社内プロジェクトへの参加や後輩指導の面で頼りになる者が多い。
- バランスが良い方が多い。チームで動くことが多く、その点の能力が元から優れている方が多い。
- 調和を保ちつつ、グループ内でよく働いている。
- コミュニケーション能力・自立性が高い。